

教育実習体験レポート

[私立 S 中学校・高等学校 保健体育] 氏名：M.I

- ① 実習校の生徒は、私が在学していた頃とは変わったと感じるところが沢山ありました。まずは、女子校から共学へと変わっていたため、教室の空気感も違っていました。また、普通科の大学進学への意志が、私が在学していた頃よりも低下していると感じました。短期大学が同じキャンパス内にあるため、「短大進学でいいかな～」と考えている生徒が非常に多く感じ、受験勉強に焦りを感じている生徒がおらず、勉強への取り組みも消極的になっていると感じました。でも、私がいた体育科は昔と変わらず、体育科らしいなど感じる事が多くありました。生徒たち個々を見れば非常に素直で私たち実習生を慕ってくれたり、協力してくれたり可愛いなど感じる生徒が多くいました。
- ② 実技については男子生徒を担当しており、運動することに抵抗がある生徒は少なく活発に活動する時間を多くとることができました。体を動かすことへの抵抗がなかったため、私自身が次々と練習内容を考えることが必要となり、実技の練習は非常に多くの時間を使いました。その分、生徒たちが楽しそうに取り組んでいる姿をたくさん見ることができ、初回は見学していた生徒も2回目以降の授業は参加してくれて、生徒が楽しめる授業ができたのではないかと考えています。また、高校1年生で、何が危険なのか理解することができていない生徒も多く、安全面の確保には非常に注意を払いました。ゴールにぶら下がろうとする生徒や、人に向けてボールを投げる生徒もおり、非常に大変でした。40名の男子生徒を、ハンドボールコート4面分の広さで見るとなると、立つ位置や巡回する頻度やスピード、助言の内容、注意することなど非常にたくさんのことを考えながら行いました。
座学では勉強に対する意欲の低い生徒が多かったため、どうやってこちら側に注目を向けるかを考えることが多くありました。そのため、クラスの生徒感に合った資料作りをしたり、教科書以外の情報をたくさん調べたりと準備に非常に時間をかけました。
- ③ 実習校の先生方は非常に温かい方々でした。生徒たちに対しても、温かくそして厳しく、非常に人として素晴らしいと感じました。また、私たち実習生に対しても非常に温かく、親身になって相談に乗ってくれることが何度もあり、授業を行う際も「失敗を恐れずに、やりたいようにやればいい」と言って背中を押してくださる先生ばかりでした。職員室も先生同士のコミュニケーションは非常に多く、教科や学年ごとの会議も全ての先生が発言し、意見が飛び交う会議だったことが印象的でした。